

同側卵管妊娠再発とその予防に対する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023年 7月 25日 ～ 2025年 3月 31日

〔研究課題〕 同側卵管妊娠再発とその予防に対する検討

〔研究目的〕

卵管妊娠に対する腹腔鏡下卵管切除術は、施行頻度の高い手術であり、頻度は少ないが卵管不完全切除が原因と考えられる同側卵管妊娠再発に注意しなければならない状況です。しかしその原因や再発予防策については知られていません。

そこで卵管不完全切除が生じている原因を後方視的に検索することで再発予防につながると考えられ、また、その予防として当院で施行している間質部の焼灼術を加えることが、長期的に再発予防につながることを見出せば、患者さんへの予後改善につながると考えられます。

このため、同側卵管妊娠の原因の検索と、当院での予防策が患者さんの予後改善につながっていることを証明することを目的にします。

〔研究意義〕

同側卵管妊娠再発の原因とその予防方法を発見することにより、術後の患者さんの予後改善につながる可能性を期待しています。

〔対象・研究方法〕

当院にて1994年1月から2022年4月までに、異所性妊娠の診断にて手術療法を選択した654件610例を対象とする。卵管切除術施行後に同側卵管妊娠を呈した症例を診療録より検出し、先行異所性妊娠部位並びに再発部位について検討する。当院の手術手順であるが、1：子宮側の卵管間質部を凝固切開、2：卵管直下の卵管間膜を凝固切開、3：卵管周囲の卵管間膜の間を結紮後凝固切開し卵管摘出としている。卵管不完全切除予防に、バイクランプにて間質部の凝固焼灼を加えている症例についても診療録を用いて再発の有無を検討する。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんが特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 馬場 聡 職名 助教
所属： 帝京大学ちば総合医療センター産婦人科
住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL： 0436-62-1211 (代表) [内線 5108]